

DX推進ビジョン

DX推進ビジョン

1

社内DX推進による
生産性向上

- ChatGPT 等の生成AIの有効活用
- SaaSの活用 (活用のためのカスタマイズ)

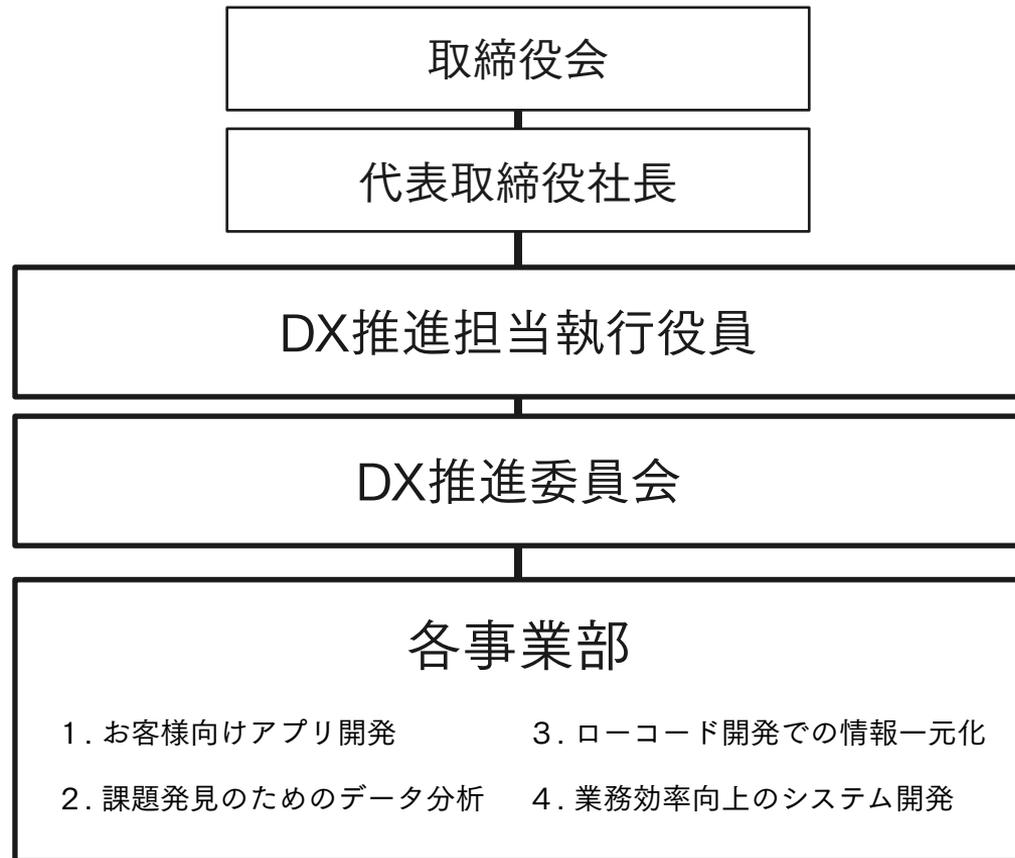
2

人材育成

- 全従業員の情報セキュリティリテラシーの向上 (社内の内部統制)
※セキュリティ委員会にてITリテラシーヒヤリハットのHowTo

DX推進強化における組織編成

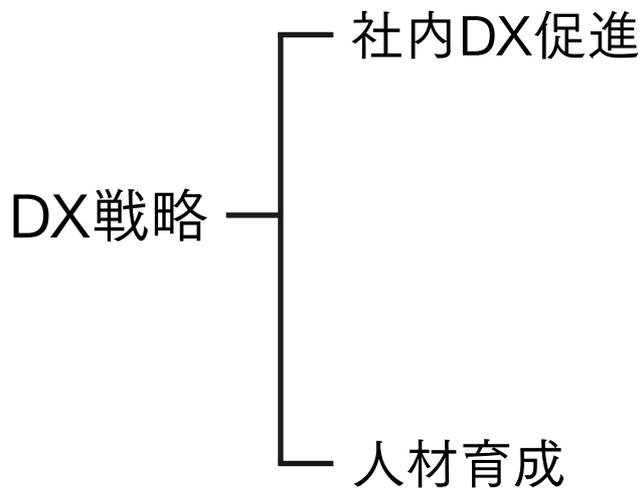
2024年2月より、
DX推進委員会を新設し、
DX戦略を迅速に課題解決を実現で
きる体制を構築しています。



推進計画

DXビジョンに基づく推進項目	推進計画	上記計画達成時の指標
社内DXの推進	ChatGPT等のAIの活用 SaaSの活用 (活用のためのカスタマイズ)	業務削減時間 200時間
人材育成	全従業員の情報セキュリティ リテラシーの向上	年3回の研修 テスト実施結果 8割が80点

DX戦略



(1) 業務プロセスの自動化と効率化に向けた活用を行います。主にアプリ開発、契約事務などの分野で文書やコードの自動生成を行い、業務負荷の軽減とスピードアップを図ります。

(2) 顧客管理ツールやコミュニケーションツールを活用し、業務の効率化を図るとともに各SaaSをGASなどを使って連携し、情報の一元化を行い、均一的な情報の共有を行います。

(1) セキュリティ委員会でITリテラシー、ヒヤリハットのHowToを蓄積していくことにより社内の内部統制を図っていきます。

DXシナリオ

社内DX推進による生産性向上

(1) ChatGPT等の生成AIの有効活用

業務プロセスの自動化と効率化に向けた活用を行います。主にアプリ開発、契約事務などの分野で文書やコードの自動生成を行い、業務負荷の軽減とスピードアップを図ります。

■ 実際の用途

- ・アプリ開発におけるソースコード生成
- ・見積書テンプレート及び契約内容の生成
- ・ユーザーへの問い合わせ回答向けの文章整備
- ・ユーザー向けガイドラインの整備

(2) SaaSの活用（活用の為のカスタマイズ）

顧客管理ツールやコミュニケーションツールを活用し、業務の効率化を図るとともに各SaaSやGASなどを使って連携し、情報の一元化を行い、均一な情報の共有を行います。

■ 実際の用途

- ・顧客管理ツールとコミュニケーションツール（チャットツール）の受注連携
- ・ドキュメント作成ツールによる報告書管理
- ・GASを活用した各サービスの連携

人材育成

(1) 全従業員の情報セキュリティリテラシーの向上

人材育成計画に沿った教育の実施します。

環境整備の具体的方策

当社ではDXの推進のために
右記のような環境整備に
取り組んでいます。

1

ChatGPT等の生成AIを使い業務プロセスの自動化と効率化に向けた有効活用を行います

2

各SaaSやGASなどを使って連携し、情報の一元化を行い、均一的な情報の共有を行います

3

顧客管理ツールやコミュニケーションツールを活用し、業務の効率化を図ります

4

セキュリティ委員会でITリテラシー、ヒヤリハットのHowToを蓄積していくことにより社内の内部統制を図ります

現在、当社ではITツール導入やデータ活用による生産性向上を目標に、情報処理の環境整備に取り組んでいます。

ChatGPT、SaaSなどのITツール導入による業務時間削減は、一定の成果を上げることができていますが、会社内の業務変革を実現するためにも、データの分析に力を入れて課題の抽出・原因の特定、適切な対策の実施に繋げていくことが重要と認識しています。

そのような認識の基に、お客様に関するデータや会計データを中心にデータの蓄積・分析を繰り返し、データに基づく意思決定ができるように推進しています。合わせて、人材育成については情報セキュリティリテラシー向上の為の教育を継続的に行っていきます。

当社では、今後もDXの推進の状況につきまして、ホームページの「DX推進ビジョン」として、随時、公開して参ります。